日本共産党区議会議員
JapaneseCommunistParty
安藤たい作
区政報告 ニュース 第117号

進む高齢化 防げ「買物難民」

北品川1～3丁目で買物環境アンケート

高齢化が進む中、消費生活を営む上で身近に存在する商店街は重要です。北品川で共産党支部・後援会の皆さんと協力し「買い物環境・商店街について」のアンケートに取り組みましたので紹介します。

北品川1～3丁目は高齢化率が区平均と比べ、5%近くも高いのが現状（上表）。高齢者にとって、身近なところに買い物できる商店街が存在していることは生命線です。

平成22年 4月1日現在				
丁目名	世帯数	人口総数	65歳以上人口	高齢化率
品川区全体	**191,001**	**349,829**	69739	**19.94%**
北品川1丁目	1,724	2,876	958	33.31%
北品川2丁目	1,642	2,982	775	25.99%
北品川3丁目	1,606	3,058	461	15.08%
北品川1～3丁目全体	4,972	8,916	2,194	**24.61%**

アンケートは昨年秋に取り組まれたもので、44人が回答。3人に2人は60代以上からの回答で、64%は30年以上北品川に住んでいる方でした。20・30代の若年者層も13・6%、40・50代の現役層からも18・1%の回答がありました。

「ふだんの買い物は主にどこでしていますか？」の質問には、

◆商店街　21人
◆大型スーパー　24人
◆中型/小型スーパー　20人
◆配達（生協）　8人
◆配達（商店街）　1人
◆その他　2人

と、ほぼ拮抗。組合わせて買い物をしている様子が伺えます。

「不便に感じている点は？」「商店街への要望は？」の質問には、

◆私は足が悪いので靴を買うのに苦労。以前は数軒あった靴屋さんが、みんな、なくなってしまって、遠くまで買いに行くこともできずいつも困っている（80代女性）◆北品川はドラックストアがないので薬局があるとすごく（かなり）便利になる（20代女性）◆各商店が点在しているので、移動距離が大きく、大変くたびれる。ジャスコ・ヨーカドーは行くまで距離がある。雨の日は行かない（70代女性）◆商店街はすぐ近くにあり、よく利用していますが、買いたい商品が品切れや置いてないことも多々あり、どうしてもスーパーに足が向いてしまう。魚や肉は商店街で求めています。品質にプライドを持ったお店、それを強く感じるからです（60代女性）◆商店街の休日は日曜以外の方がよいと思います（80代女性）◆手造りパン屋がないのが残念（70代女性）◆閉店が早い、商店街を利用してメリットがあれば利用する（30代女性）◆幸いというか近くにあるスーパーは便利（70代女性）

など、幅広い世代層から、日頃の買物へのご苦労や消費者の率直な声も寄せられました。

次回は区の商店街振興策についてみてみます。

5月16日の全国青年大集会が目前！国民の声とたたかいで人間らしい労働ルールをつくりましょう。ヨーロッパがそうだったように！

漫画：安藤たい作

安藤たい作プロフィール　’74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。’98年漫画家を志し上京。’02年青年誌奨励賞受賞。’06年の区議補選で初当選。現在、二期目。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める使途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。